

# 千葉県社保協通信

2022年度—No6 2022年 11月 30日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2022@themis.ocn.ne.jp](mailto:syaho2022@themis.ocn.ne.jp)

## 史上最悪の介護保険改定は許さない!!

介護する人・受ける人がともに大切にされる制度へ  
介護保険制度の改善求める署名を広げよう



介護保険制度の創設から22年、必要な介護サービスが利用できない実態が広がる一方で、保険料負担は当初の倍以上となっています。

介護従事者の賃金は全産業平均より月7万円も低く、2月からの処遇改善もその差を補うには程遠く、事業所は人出不足が深刻となっており、コロナ禍も重なって介護報酬の低いもとで経営難が続いています。

ところが政府は通常国会で制度のさらなる改悪を狙っています。

負担増・給付減の中身は・・・

▼要介護1、2を軽度者として保険給付から外す▼利用料2～3割負担の拡大▼保険料納付年齢の引き下げ・サービス利用年齢の引き上げ▼介護老人保健施設などの多床室の部屋代を保険給付から外す▼ケアマネージャが作成するケアプラン作成の有料化▼特養ホームなどを利用する低所得者の食費・居住費を減額する「補足給付制度」の厳格化＝資産要件について金融資産に加え不動産を要件にする▼保険料負担は高所得者

「11.11 介護・認知症なんでも電話相談」には全国で261件、千葉会場には10件の相談が寄せられた。県民医連と認知症の人と家族の会千葉県支部、あわせて9人の相談員が交替で相談者の声に耳を傾けた。

負担の引き上げで低所得者の負担増を抑え、国庫負担割合の引き上げ等の抜本策はなしです。

利用者・家族・事業者団体等の強い反対の声により、28日に開催された社会保障審議会(厚労省の諮問機関)介護保険部会で「ケアプラン有料化」「要介護1、2の保険外し」などは「見送り」の方向とのことです。(別添/中央社保協ニュース参照)

「介護保険改善署名」の目標は50万筆です。22日には千葉県内からの署名を含め約14万筆を国会に提出。いよいよこれからが正念場です。

ひきつづき、署名を広げましょう。

## 第31回社会保障制度の充実求める自治体要請キャラバン

### いのち・暮らしに向き合い 国に声届けて！ 県と市町村に役割発揮を求める

1993年、千葉県社保協の前進である「社会保障推進千葉県共同実行委員会」(略称：社保共同)時代からの「社会保障制度の充実を求める自治体要請キャラバン」は31回を重ねました。

長期化するコロナ禍と物価高騰、さらなる社会保障費の削減をねらう岸田政権のもとで、住民の暮らしの実態を明らかにしながら、自治体とともに考え、施策の改善充実と「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担う」という自治体本来の役割の発揮を求めるものです。

新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際に経済活動への影響を最小限に抑えるためにも医療・介護・福祉、公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題です。

地域社保協と準備会、地域団体の協力ですすでに54



県懇談/10月18日午前、県議会委員会室にて項目を絞り、県担当課と懇談した。出席は、県保険医協会1、県民医連5、自治労連県本部1、新婦人県本部1、千商連1、県社保協1 計10名。みわ県議が同席した。※発言要旨は別添

市町村の内30自治体と項目を絞り込んで懇談しました。困難な中でも住民の声を真摯に受け止め施策の改善につなげようとする職員の姿勢におおいに励まされます。

年度内にすべての自治体と懇談し、社保協未結成地域での社保協づくりをめざします。「軍拡より社会保障の充実を」の声を地域から広げます。